

## 第6期町田市介護保険事業計画 2016年度進捗状況 概要版

基本目標	基本施策		取り組み数	進捗			
	重点	取り組みの柱		◎	○	△	×
1 いきいきと 安心して地域で 暮らしている	1	地域ネットワークの充実	7	0	7	0	0
	☆	高齢者支援センターの機能の充実	3		3		
		地域のネットワークづくりの強化	3		3		
		緊急時等の地域連携機能の強化	1		1		
	2	社会参加の推進と介護予防	6	3	3	0	0
	☆	介護予防の推進	2	2			
新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施		2	1	1			
生活支援・介護予防の担い手の育成		2		2			
2 住み慣れた 地域での生活が 継続できている	3	医療と介護の連携による自立生活の支援の推進	4	0	4	0	0
	☆	在宅医療・介護連携の推進	2		2		
		在宅高齢者の家族介護支援	2		2		
	4	統合的な認知症ケアの体制づくり	11	1	10	0	0
	☆	軽度認知症の支援強化	4	1	3		
		認知症早期診断・早期対応の支援	2		2		
認知症生活機能障害に合わせたサービス体制 認知症高齢者、家族をサポートする仕組み		2 3		2 3			
3 自分にあった 介護保険サー ビスを適切に利 用できている	5	在宅を支える介護保険サービスの充実	12	2	9	1	0
	☆	在宅介護を支える介護保険サービスの整備促進	1			1	
		介護保険サービスの品質の向上	6	2	4		
		適切な介護保険サービスの利用	5		5		
	6	自分にあった住まいや施設の選択	4	0	4	0	0
		在宅継続に向けた住宅改修等 多様な住まいや施設の確保	2 2		2 2		
合計			44	6	37	1	0
【計画以上に進んでいる】 + 【計画どおりに進んでいる】 ⇒ 97.7%							

## ◆基本目標1 いきいきと安心して地域で暮らしている

基本施策		取り組み数	進捗			
重点	取り組みの柱		◎	○	△	×
1	地域ネットワークの充実	7	0	7	0	0
☆	高齢者支援センターの機能の充実	3		3		
	地域のネットワークづくりの強化	3		3		
	緊急時等の地域連携機能の強化	1		1		
2	社会参加の推進と介護予防	6	3	3	0	0
☆	介護予防の推進	2	2	0		
	新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施	2	1	1		
	生活支援・介護予防の担い手の育成	2		2		
【計画以上に進んでいる】 + 【計画どおりに進んでいる】 ⇒ 100%						

### 基本施策1 地域ネットワークの充実

#### <将来の目指す姿>

高齢者支援センターを核として、医療機関や介護保険事業所、地域住民等が連携して、充実したネットワークが構築されることにより、高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活することができています。

#### <評価すべき点>

○高齢者支援センターの統括・総合調整機能の強化に関しては、毎月の連絡会における情報共有などを通じ着実に進んでいます。センターの事業評価についても、評価の枠組みを検討・決定し、評価を実施することができました。

○町内会・自治会を単位とした高齢者の見守り支援ネットワークは、2016年度までに40町内会・自治会に拡大しています。

○あんしん相談室は2016年度に1箇所新設したことで、高齢者支援センターの全地区に設置が完了し、より多くの方へ対応できるようになりました。

○2016年4月、12の高齢者支援センターに各1名ずつ、介護予防事業を企画、実施する「地域介護予防推進員」を配置しました。

#### <課題および今後の方向性>

○高齢者支援センターが中心となって、地域と連携し、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるために、高齢者支援センターの人材を育成すると共に、高齢者支援センターの事業評価を実施していきます。

○2017年度からあんしん相談室に高齢者の総合相談機能を追加し、高齢者支援センターのランチとして再始動します。

○町内会、自治会だけでなく地区協議会等に働きかけをして、見守り支援ネットワークの一